

○水生生物モニタリング調査結果一覧（はやま湖G）

＜はやま湖G 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
G－1	○	○	○	○	○	○
G－2	○	○	○	－	○	－
G－4	○	○	○	－	○	－

＜はやま湖G 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透明度（m）
G－1（表層）	37.7313°	140.8132°	R5.6.8	11:03	11:29	23.3	15.0	泥	5Y5/1	なし	9.3	1.6
G－1（下層）				11:08		15.3						
G－2（表層）	37.7267°	140.8223°		10:08	10:27	23.9	19.7	シルト	7.5Y5/1	枝、枯葉	3.0	2.0
G－2（下層）				10:12		20.9						
G－4	37.7382°	140.8035°		13:30	13:45	20.3	20.3	砂礫	7.5Y5/3	なし	0.1	>1.0

注) はやま湖（真野ダム）G-1地点は、渇水により約500m下流側へ移動。

＜はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD	COD	DO	電気伝導率	塩分	TOC	SS	濁度	Cs-134	Cs-137	Sr-90
調査地点	緯度	経度	日	時刻		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mS/m)		(mg/L)	(mg/L)	(度)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)
G－1 (表層)	37. 7313°	140. 8132°	R5. 6. 8	11:03	7. 4	1. 7	4. 4	9. 9	9. 4	0. 06	2. 0	6	6. 2	N. D. (0. 0015)	0. 043	—
G－1 (下層)				11:08	6. 9	1. 5	5. 8	6. 6	12. 5	0. 06	2. 0	40	18. 0	0. 0019	0. 099	0. 0010
G－2 (表層)	37. 7267°	140. 8223°		10:08	7. 6	1. 3	3. 7	9. 4	9. 2	0. 05	1. 9	4	3. 9	N. D. (0. 0013)	0. 026	—
G－2 (下層)				10:12	7. 2	1. 0	3. 0	7. 0	8. 7	0. 05	1. 6	4	3. 3	0. 0031	0. 15	—
G－4	37. 7382°	140. 8035°		13:30	7. 6	1. 4	3. 3	8. 8	10. 1	0. 06	1. 7	2	1. 7	N. D. (0. 0015)	0. 0070	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

注) はやま湖（真野ダム）G-1地点は、渇水により約500m下流側へ移動。

＜はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
G－1	37.7313°	140.8132°	R5.6.8	11:29	7.4	130	49.5	10.3	21.0	2.560	0.0	0.0	0.1	3.1	38.0	58.8	0.0022	2.0	41	1800	2.4
G－2	37.7267°	140.8223°		10:27	7.2	222	48.0	11.5	24.0	2.520	0.6	1.7	2.7	32.1	48.8	14.1	0.059	9.5	29	1200	－
G－4	37.7382°	140.8035°		13:45	7.6	447	21.2	2.2	1.8	2.650	40.0	30.0	18.8	4.8	3.8	2.6	1.5	38	2.3	150	－

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

注) はやま湖（真野ダム）G-1地点は、渇水により約500m下流側へ移動。

<はやま湖G 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
G-1 G-2 G-3	湖内	37. 7313° 37. 7267° 37. 7302°	140. 8132° 140. 8223° 140. 8307°	R5. 6. 8	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン（浮遊藻類）	—	0. 028	—	—	—	2. 6	N. D. (1. 5)	2. 6	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	0. 63	成魚	不明消化物	内臓除去	27	N. D. (1. 5)	27	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	2	1. 8	成魚	不明消化物	内臓除去	16	N. D. (1. 5)	16	0. 41
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	1. 7	成魚	不明消化物	内臓除去	13	N. D. (1. 2)	13	0. 39
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	1	0. 015	未成魚	陸上昆虫類	内臓除去	22	N. D. (3. 1)	22	—
G-4	流入河川	37. 7382°	140. 8035°	R5. 6. 8	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0. 0037	—	—	—	78	N. D. (16)	78	—
					節足動物	昆虫	カゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>	チラカゲロウ	107	0. 0082	幼虫	—	—	19	N. D. (3. 6)	19	—
					節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>	フタスジモンカゲロウ									
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Paragnetina tinctipennis</i>	オオクラカケカワゲラ									
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Kamimuria quadrata</i>	クロヒゲカワゲラ	62	0. 011	幼虫	—	—	2. 7	N. D. (2. 2)	2. 7	—
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Paragnetina suzukii</i>	スズキクラカケカワゲラ									
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Neoperla</i> sp.	フタツメカワゲラ属									
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Niponiella limbatella</i>	ヤマトカワゲラ									
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	51	0. 015	幼虫	—	—	24	N. D. (4. 5)	24	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	23	0. 0066	幼虫（ヤゴ）	—	—	15	N. D. (5. 8)	15	—
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Nihonogomphus viridis</i>	アオサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Davidius</i> sp.	ダビドサナエ属									
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	50	0. 046	幼虫	—	—	2. 2	N. D. (0. 88)	2. 2	—
				R5. 6. 16	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	72	0. 94	未成魚/成魚	—	—	30	N. D. (2. 2)	30	0. 21
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	1	0. 025	未成魚	—	—	11	N. D. (1. 6)	11	—
				R5. 6. 8	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	33	0. 59	未成魚/成魚	—	—	90. 6	1. 6	89	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	214	1. 3	未成魚/成魚	ヤマトビケラ、ヤマメ、デントウムシ、コシミシ、ヒゲナガカワトビケラ	内臓除去	13	N. D. (1. 3)	13	0. 12
				R5. 6. 16	脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	7	0. 47	未成魚/成魚	—	—	21	N. D. (1. 2)	21	—
				R5. 6. 8	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	3	0. 040	未成魚	カヨシホリ、ヒゲナガカワトビケラ	内臓除去	12	N. D. (1. 3)	12	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	2	0. 011	未成魚	—	—	15	N. D. (3. 3)	15	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius flumineus</i>	カワヨシノボリ	28	0. 028	未成魚	—	—	9. 1	N. D. (1. 4)	9. 1	—
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	0. 54	成魚	魚類	内臓除去	36	N. D. (1. 4)	36	—
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0. 24	—	—	—	74. 7	1. 7	73	—

- ※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- ※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、 内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、 除去して測定した。
- ※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μ mのプランクトンネットで漉した残留物を指す。
- ※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。
- ※9：はやま湖（真野ダム）G-1地点は、渇水により約500m下流側へ移動。